

K A W A K A M I D A M 2007

川上ダム通信

9月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

河川整備計画原案に地域の皆さんの声を！ ～国交省、「淀川水系河川整備計画原案」を公表～

平成19年8月28日（火）に「淀川水系河川整備計画原案」が近畿地方整備局より公表され、この中で川上ダム建設事業は「現在、整備中の川上ダムを完成させる」と明記されました。この河川整備計画の策定は、川上ダム建設事業において本体着工の条件となる関連法手続きの一つであり、近畿地方整備局は学識経験者や関係市町の首長の意見、地域住民の皆さんの声を聞きながら、年内に同整備計画（案）を作り、その後、関係府県知事へ意見を聴取した上で、今年度中を目途に河川整備計画を策定する予定としています。近畿地方整備局は皆さまの意見をお聴きするたたき台としての、同原案の内容を地域の方々に幅広く知ってもらうため、機会ある毎に説明を行っています。

【調査設計課長 岩本浩】

伊賀市議会「建設水道常任委員会」で 淀川水系河川整備計画原案を説明

平成19年9月21日（金）に伊賀市議会「建設水道常任委員会」が開催され、国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所の桜井所長と川上ダム建設所の酒井所長が出席し、「淀川水系河川整備計画原案」の概要と川上ダム事業について説明を行いました。



川上ダム建設計画を説明する酒井所長

これは、皆様の意見を伺いながら河川整備計画を策定していくために、機会ある毎に広く同計画の原案を説明していくこととしており、その一環として行ったものです。同委員の皆さまからは川上ダムの早期完成を望むという声もいただいたところです。

今後とも、広く皆様にダム事業計画について説明し、事業推進を図っていききたいと思います。



建設水道常任委員会の様子

【工務課長 北牧正之】

河川整備計画原案公表・この人に聞く！！

長年にわたって川上ダム建設事業に携わっているお二人の方に「河川整備計画原案が示されたことへの気持ち」というテーマでインタビューに答えていただきました。



～川上ダム建設促進期成同盟会会長 西山 甲平氏～

昭和40年代中頃から上野遊水池事業に関わってこられた西山さんは、平成17年2月に発足した川上ダム建設促進期成同盟会の会長を発足時から務められています。

「河川整備計画原案」が出されたことについて、「川上ダムを完成させることがこの原案にきちんと明記され、やっと先が見えてきた思いで大変嬉しい。これからは一日も早く河川整備計画の策定を望むとともに速やかなフルプランの改訂と、一刻も早いダム本体着工・完成を強く望んでいる。」と話されました。

～川上地区ダム対策委員会委員長 古川 喜道氏～

古川さんは昭和50年1月から川上地区のダム対策委員会の委員長を務めておられます。

「河川整備計画原案」が出されたことについて、「一歩前進ではあるが、川上ダムの建設はもうずいぶん遅れている。もっと早く事業を進めて欲しい。一日も早い事業実施を期待している。」と話されました。



※国土交通省近畿地方整備局では、河川整備計画原案についての意見や提案を募集しています。

○インターネット

<http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/seibi/>

○郵便

住所、氏名、電話番号をご記入の上、お送りください。

〒541-6690 船場郵便局 私書箱62号

淀川水系河川整備計画原案 ご意見受付係

○携帯電話

<http://www.mobile.yodoriver-net.jp/seibi/>

○ファックス

住所、氏名、電話番号をご記入の上、お送りください。

FAX: 06-4964-2434

※詳細については近畿地方整備局のホームページ等でご確認下さい。

幼稚園の運動場整備に一役

9月21日(金)に地元青山にあるよさみ幼稚園に、付替県道松阪青山線第5工区で川上ダム建設所から工事を請け負っている業者が土砂(10tダンプトラック1台)を運びました。これは同幼稚園から、運動場の水溜まり解消のため、土砂を譲ってほしいとの依頼を受けたものです。

遠くから見ていた園児も10tダンプトラックが勢いよく、砂をおろしているところを見て歓声を上げていました。また、幼稚園の先生方からも運動場がきれいに整備され大変喜んで頂きました。

作業を終えた、業者の方も、「地元あつての工事なので」と、すがすがしく話していました。これから秋の運動会のシーズン、園児が元気に運動場を走り回って頂ければと思います。【調査設計課 立石浩行】



土砂搬入の様子

川上ダム付替道路工事現場の石が石彫作品に変身

彫刻や造形作品を公開制作する「アーティスト・イン・レジデンス・アット・伊賀 2007」の作品展が9月4日（火）～9月9日（日）に伊賀市種生の青山ハーモニー・フォレストを中心に開催されました。4人の芸術家の方が作品を制作し、その中の1人、彫刻家の野崎窮さんは川上ダムの付替道路工事現場から出た石を使った石彫作品を完成させました。これは「土にうまれ森にいき風となる」という作品で、土の質感・森のざわめき・吹き抜ける風をテーマにした3個の石を1組にした作品です。作品展終了後、青山ハーモニー・フォレスト内の芝生広場に設置、周囲の山並みや空と一体となった作品として完成します。

【総務課 武村剛泰】



作成された作品

防災訓練を実施

9月1日（土）、川上ダム建設所では、大規模地震が発生したという想定の下に、地震に関する防災意識の維持・高揚を図るため、初動態勢の確立、情報収集・伝達等防災訓練を行いました。

また、9月7日（金）、伊賀市消防本部救急救助係より、二人の方を講師に招いて、「普通救命講習会」を行いました。講習会は地域貢献の



地震防災訓練の様子

一環として、工事施工業者等の参加も頂きながら、指導を受け、AED（自動体外式除細動器）や三角巾を

使った救急救命訓練を行いました。19名の受講者は、不慣れな訓練に戸惑いながらも、熱のこもった指導を受けて、真剣に講習に取り組みました。（川上ダム建設所はAEDを設置しています。）

【工務課 柴田健一】



救急救命訓練の様子

技術力の向上に向けて～水資源機構関西ブロック技術研究発表会を実施～

平成19年9月11日（火）～9月12日（水）にエル・おおさかにおいて水資源機構関西ブロック技術研究発表会が開催され、日頃から技術研鑽に努めている成果を発表しました。

これは、関西管内の職員が日常業務の中で実施した調査・計画・設計・施工・管理等に関する研究等の報告又は創意工夫した業務上の提案を行うことにより職員の技術力の向上を図ることを目的として開催されるもので、発表会当日は利水者の方々も傍聴者として参加されました。川上ダム建設所からは3課題について発表を行いました。今後も技術力の向上に努めていきたいと思ひます。

【調査設計課 立石浩行】



発表会の様子

ちよつとオオサンショウウオ!

オオサンショウウオの仲間たち

世界最大の両生類であるオオサンショウウオは、両生類の中で有尾目(しっぽを持つもの)という仲間に含まれます。ちなみに、同じ両生類であるカエルは無尾目に分類されます。このほか、日本にはいませんが、両生類には無足目という仲間がいます。

有尾目の仲間は、世界で約400種類が知られているそうですが、日本では、オオサンショウウオの他に、サンショウウオ科の17種とイモリ科の3種、合わせて20種類が棲んでいます。なお、オオサンショウウオは、「サンショウウオ」という名前が付いていますが、サンショウウオ科ではなく、オオサンショウウオ科という独立したかたちで分類されています。

日本に棲んでいるサンショウウオやイモリの仲間の多くは、一生のほとんどを水中で過ごすオオサンショウウオとは異なり、森の落ち葉の下や河原の岩の下などに棲み、繁殖のときだけ水中に入ります。このようなことから、オオサンショウウオは特徴的な生態であることが分かります。(つづく) 【環境課長 大村朋広】



ちかた 藤原千方伝説地探訪

〈風穴〉

千方城郭の風穴といわれ、非常口用の脱出口だったと伝えられています。この風穴は、名張市滝之原の赤岩尾神社の風穴に通じると言われています。

※千方窟周辺遺跡への行き方
近鉄青山町駅から高尾行きバス25分
高尾保育所前下車徒歩1時間



風穴

EVENT

種生神社 おわたり

年に一度の例祭に本殿の神霊がおみこしにのって御旅所に渡御するいわゆる「わたり」の儀式。種生神社の「わたり」は「こたつき渡御」というもので、むかし鹿島の神(種生神社の本来の祭神)が船で渡御した姿を移し伝えたものといわれ、伊賀では類をみないものです。

○日時／10月27日(土)～10月28日(日)

○場所／種生神社(伊賀市種生)

第61回 芭蕉祭

松尾芭蕉の文学的功績を讃え遺徳を偲び、俳句大会や史跡参観、特別展などのイベントが催されます。

○日時／10月12日(金)

○場所／上野公園 俳聖殿広場前等

上野天神祭

400余年の伝統を持ち、伊賀上野の秋を彩る伊賀最大の祭です。国の重要無形民俗文化財である鬼行列とだんじり巡行はまるで絵巻物のような華やかさで、観客を夢の世界へと誘います。

○日時／10月23日(火)～10月25日(木)

○場所／上野天神祭、伊賀市内、三筋町等

編集後記

残暑も収まり涼しくなってきました。夜空を見上げると月がとてもきれいです。今年の中秋は9月25日でしたが、みなさまお月見はされましたか。お供えをして、お月見をすると、とても心が安らぎます。

【広報誌発行事務局】

編集長 酒井 進 (川上ダム建設所長)

デスク 上村 信幸 (総務課長)

〃 北牧 正之 (工務課長)

通信記者 武村 剛泰 (総務課)

〃 立石 浩行 (調査設計課)

〃 磯野 正典 (環境課)



JAB
EMS Accreditation
RE006



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用しています。◇